

一般質問

掲載の8項目を含め12人の議員が31項目の質問を行い町長の考えをたどしました。

子育て支援

応援パスポート事業の導入を

早い時期に実施したい

【質問】地元企業や行政が一体となつて子育て中の家庭を支援する、子育て応援パスポート事業を実施できないか。

【答弁】この事業は、自治体が参加事業者の募集やパスポートなどを発行し、参加する事業者は割引サービスや景品のプレゼントなどの支援サービスを、子育て家庭に対して行うもので、全国的な広がりを見せている。子育て支援に有効な事業なので、早い時期に実施したい。



お母さんといっしょ

今後の運行計画は

財政状況を考慮し検討

【質問】町内循環コミュニティバスの今後の運行計画はどのようなのか。

【答弁】循環バスの今後は、これまでの実験運行の結果や検討委員会の意見などをふまえ、本運行に向け最終的な判断を、十一月の予算編成時期までに行う。しかし、現在の厳しい財政状況を考慮すれば、増便や運行時間帯の延長などは難しい。本運行に掛かる費用と効果について詳細に検討し、最も望ましい運行計画を定める。



ご利用ください

町内循環バス

障害者の雇用促進を

改善に向けて努力する

【質問】障害者の法定雇用率は、二・二％となっているが、役場では達成しているのか。

【答弁】役場では六月一日現在、実雇用率は二・三四％で達成していない。今後、雇用率達成に努力する。



雇用率の達成に努力します

雇用対策



早くきれいになるといいな

尾崎川

浄化対策は進んでいるのか

来年度から導水を開始し浄化へ

【質問】瀬野川の水を引き込み、尾崎川を浄化する導水計画は、進んでいるのか。

【答弁】県は、現在発注している設計が完了しだい、瀬野川に沿った昭和公園付近の樋門や水路の工事を行い、来年度から導水を開始する予定である。

洪水ハザードマップを示せ

早期に作成する

質問 町の広報紙に津波浸水ハザードマップが掲載されたが、洪水ハザードマップはいつ出すのか。

回答 県が平成十八年度末までに、瀬野川決壊による浸水予測図を作成する。町としては、この予測図ができれば洪水ハザードマップを作成し、住民に知らせる。



高潮による浸水

水害対策

耐震補強に補助金を

近隣市町の動向を見ながら検討

質問 地震などの災害に強い住宅は、固定資産の評価も上がり、将来的には税収アップにもつながるのではないか。

回答 現在、国の制度で耐震対策交付金制度があり、この制度を活用している自治体が増えつつある。本町においても広島県および近隣市町の動向を見ながら制度の活用を検討したい。耐震改修は、部分改修であれば、固定資産税の増収にはつながらない。

地震対策



海田公民館は壁に鉄筋を入れ補強しました

予算の執行見込みはあるのか

できるものから進めていく

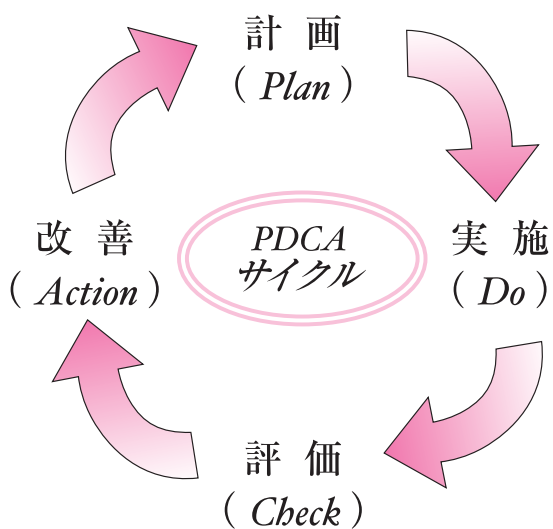
質問 平成十八年度における、海田市駅南口土地区画整理事業の予算の執行見込みはあるのか。

回答 海田市駅南口の東地区区画整理および西地区のまちづくり素案がまとまったので、九月中に土地区画整理審議会に報告し、地元の方々のご意見、ご協力を得ながら、まちづくりに取り組んでいく。その中で、予算執行できるものから、順次、業務発注を行う予定である。



駅南口の東地区

土地区画整理事業



事業の健全化

コストと評価の制度は

効率的な運営を再検討する

質問 まちのそれぞれの事業に掛かるコストの見通しはどうか。

また、それを評価する制度を導入してはどうか。

回答 現在、まちの事業別コスト計算書の作成に取り組んでいる。その結果、コストが極端に高いものについては、事業費の抑制や受益者負担の適正化と活用度の向上について検討し、効率的な事業の実施に向けて取り組む。さらに、行政評価制度を導入し、事業の妥当性、有効性、効率性、公平性などについても再検討する。